

Title	二〇一八年度三田史学会大会プログラム：二〇一八年六月二三日
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2020
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.88, No.3/4 (2020. 5) ,p.179(449)- 181(451)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20200500-0179

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二〇一八年度 三田史学会大会プログラム

―二〇一八年六月二三日―

午前の部 研究発表

日本史部会

一、江戸の灯火用菜種油の需要と安定供給対策の特性

科学史技術史研究所

中村 秀臣

二、枢軸国間文化提携と「指導」原理

―第一回日独学徒大会を事例に―

慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程

山本 晶子

三、明治・大正期日本の食塩市場と塩専売制度をめぐる経済史研究の意義と課題

慶應義塾大学文学部

前田 廉孝

東洋史部会

一、一七世紀前半におけるオスマン海軍総督の経歴と地位

慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程

相磯 尚子

二、後期マムルーク朝官僚名家の生存戦略

―ムズヒル家を例に―

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

太田 絵里奈

三、春秋野人考

愛媛大学法文学部

水野 卓

四、日中戦争期、華北の寒羊・寿陽羊と日本 大阪経済大学経済学部

吉田 建一郎

西洋史部会

一、アカイア人のコイノンにおける仲裁者ローマ

同志社大学文学部文化史学科

岸 本 廣 大

二、ブルース王朝治下スコットランドにおけるパラメントの発展

慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程

坂 下 拓 治

三、大航海時代における船上遺言書

広島大学大学院文学研究科歴史文化化学講座

井 内 太 郎

民族考古学部会

一、後期旧石器時代石材原産地遺跡における石器使用のあり方

―山形県お仲間林遺跡と太郎水野2遺跡の比較検討から―

慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程

小 谷 部 優

二、オホーツク文化におけるオットセイの利用

―礼文島出土資料の分析を中心に―

慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程

女 部 田 かなみ

三、地域社会の中の国史跡

―鹿児島県南種子町平田集落と国史跡広田遺跡―

慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程

石 本 のえる

四、南方熊楠の人類学

―『ネイチャー』『ノート・アンド・クエリーズ』掲載英文論考―

慶應義塾大学非常勤講師

志村 真幸

午後の部 講演会

「島の歴史学」

講演1 「対馬の古文書 ―対馬宗家が残した文書と記録―」

慶應義塾大学名誉教授

田代 和生

講演2 「ジェルバ島の漂着聖女信仰 ―ユダヤ教徒の祭礼を中心として―」

東京国際大学商学部教授

田村 愛理

講演3 「島の修道院 ―地中海カンヌ沖レランス島 (Lérins) とその修道院―」

慶應義塾大学文学部教授

神崎 忠昭

講演4 「「島景観」の歴史生態学 ―ラパ・ヌイと石垣島のジオ・アーケオロジー―」

慶應義塾大学文学部教授

山口 徹

コメント

慶應義塾大学名誉教授

近 森 正

司会

慶應義塾大学文学部教授

佐藤 孝雄

三田史学会総会

懇親会